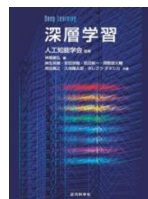


今週のKinoppy新着情報一学術書・教養書



深層学習

人工知能学会【監修】 税込 ¥3,402 (紙の書籍 ISBN:9784764904873 2015/10刊)
 神鷹敏弘【編集】
 近代科学社

深層(多段階)ニューラルネットワークの構築は人工知能を模索する研究者にとっては長年の課題であり夢でもあり、まさに研究対象でもあった。この分野の最先端の著者らが人工知能学会誌に掲載した連載解説を大幅に加筆再編したものである。今までの到達点、今後の課題が具体的な研究成果と共に書かれている。深層学習の理論・応用を、自らの研究に取り込むことを考えている読者には、まさに必携必読の書籍である。



原色の呪文 現代の芸術精神

岡本太郎 税込 ¥1,350 (紙の書籍 ISBN:9784062903011 2016/02刊)
 講談社

独創的な芸術作品のみならず、優れた芸術論やエッセイも多数遺した岡本太郎。1968年刊行の『原色の呪文』から、現代芸術に関する文章を抜粋、「黒い太陽」「わが友、ジョルジュ・バタイユ」「対極主義」「ピカソへの挑戦」「坐ることを拒否する椅子」「芸術の価値転換」「モダニズム克服のために」などを収録。若き芸術家たちに絶大な影響を与えた芸術論の名著。



都市の起源 古代の先進地域＝西アジアを掘る

小泉龍人 税込 ¥1,620 (紙の書籍 ISBN:9784062586238 2016/03刊)
 講談社

「都市の起源」を探究することは、文明の起源を知ることである。従来、「世界最古の都市」とされてきたエリコ遺跡は、近年、その「都市説」が見直されている。本書では、イラクのウルク遺跡と、シリアのハブーバ・カビーラ南遺跡を「世界最古」の有力候補とし、さらに、メソポタミア各地の遺跡を検討。人の移動、すなわち「よそ者」の流入を契機に快適な生活空間への工夫がなされ、同時に人々の「格差」が生まれるまでを解明する。



一歩先の英文ライティング

田邊祐司 税込 ¥1,188 (紙の書籍 ISBN:9784327452711 2015/09刊)
 研究社

1つの単語や表現は、さまざまな意味を持つ。それを状況に応じて的確に使いこなせば、ネイティブ感覚に近い、より自然な英語が書ける。各表現のニュアンスを理解し、その効果的な使い方をマスターして、一歩先の英文を書き上げよう！



観光情報学入門

観光情報学会【編】 税込 ¥2,624 (紙の書籍 ISBN:9784764904828 2015/05刊)
 近代科学社

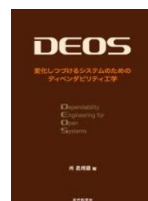
情報で観光を実学する！我が国は今日、観光を産業資源として外国人の来訪を積極的に進めようとしている。このような状況の中、観光を情報の切り口から体系的に学び、実学に結びつけるのは急務である。本書はこのような視点から、観光情報学という新たな領域を具体的な事例を数多く例示しながら解説している。観光情報に関心のある読者はもとより観光資源をいかに活用しようかと考えている読者にも最適の書である。



分子論理ゲート 情報処理のできる機能性分子

アミラ・プラサンナ・デシルバ【著】 税込 ¥4,536 (紙の書籍 ISBN:9784061543843 2014/09刊)
 内山聖一【著訳】
 講談社

センサーや医療分野への応用が期待される分子論理ゲートの概念および応用についてまとめた専門書。その原理となる光化学の基礎から、実際の設計指針についてもわかる。若い研究者には是非お薦めしたい一冊。



DEOS

所真理雄 税込 ¥5,346 (紙の書籍 ISBN:9784764904613 2014/05刊)
 近代科学社

DEOS(デオス)とは“Dependability Engineering for Open Systems”である。本書は現代社会において、変化しつつ長期的に運用される巨大で複雑な複合システムに対し、いかにしてその不具合を減らし、重大事故を防ぎ、信頼性を保ちつつ運用を継続していくかについて体系的に議論した初めての技術書である。システム開発・保守・運用に従事する技術者、研究者に必携の書である。



言語科学をめざして: Issues on anaphora in Japanese

傍士元【著】 税込 ¥2,000 (紙の書籍 ISBN:9784905328049 2013/11刊)
 上山あゆみ/田窪行則【編集】
 大隅書店

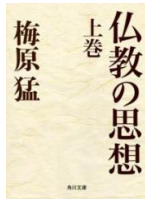
ノーム・チョムスキーは言語の中に科学の対象になりうる側面を見出したが、傍士元は、チョムスキーよりも本気で、言語(機能)をめぐる(厳密)科学の実現を信じ、ストイックにその成立を追求してきた。本書は、これまで発表された傍士の論文から代表的なものを選び、編集したものである。戦う言語学者・傍士元の論文集、世界に先駆けて、待望の出版！



近代日本とアジア — 明治・思想の実像 (ちくま学芸文庫)

坂野潤治 税込 ¥918 (紙の書籍 ISBN:9784480095763 2013/10刊)
筑摩書房

近代日本の対外論は、「アジア主義」対「脱亜論」という図式によって描かれてきた。前者は欧米のアジア侵略に東アジア諸国とともに対抗しようとする立場であり、後者は欧米列強の一員としてアジア進出に参加すべしという主張だ。福沢諭吉・山県有朋・陸羯南・青木周蔵ら、政治家・思想家が、この2つの対外思想の間で揺れ動いたと理解される。日本外交を規定する構造とその変化を明らかにした記念碑的論考。



仏教の思想 上巻(角川文庫)(下巻も同時配信)

梅原猛 税込 ¥583 (紙の書籍 ISBN:9784041815045 1992/05刊)
KADOKAWA / 角川書店

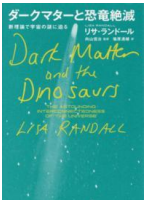
【上巻】仏教というものは、「生死の意味を明らかめようとする」さまざまな試みから生まれた一つの大きな思想の流れといつてもよいかもしれない。現代文明は死を忘れた文明であるという。仏教思想に、今後の人類を導く思想創造の可能性を見いだすのは、死に対する洞察の深さゆえである。【下巻】仏教思想は、インドから中国へ来て日本へ渡ったが、しかしその伝達には、何百年、あるいは何千年という時間と、そこでそれに携わった多くの人の苦悩が必要だったのである。一人の人間の生の最も深いところから、その思想家のもつ思想にたいする情熱を見ていこう。こういう方法が、本書で一貫してとられている方法である。



新薬創製 日本発の革新的医薬品の源泉を探る

長岡貞男【編著】 税込 ¥4,536 (紙の書籍 ISBN:9784822200251 2016/03刊)
日経BP社

オプジーボ、アクテムラ、プロレス、…日本で生まれた、12の画期的新薬その開発の過程を当事者へのインタビューを基に徹底分析。この日本発の革新的なブロックバスター医薬品の各事例には、創薬過程にユニークな特徴がある。その過程を統一的視点で調査・横断分析をした結果、基礎研究の重要性、知的財産制度が果たす役割、産学連携の在り方など、多くの示唆を与えてくれるポイントが見出せる。イノベーションと産業組織を研究対象としてきた東京経済大学の長岡貞男教授を中心に、研究者や製薬企業出身者らからなる10人のグループが本書を執筆した。



ダークマターと恐竜絶滅 新理論で宇宙の謎に迫る

リサ・ランドール【著】向山信治【監訳】 税込 ¥2,818 (紙の書籍 ISBN:9784140816950 2016/03刊)
塩原通緒【訳】
NHK出版

ダークマターの一部は寄り集まって円盤化し、天の川銀河の円盤内に収まり(二重円盤モデル)、周囲に強い影響を及ぼすのだという。その新種のダークマターが彗星を地球に飛来させ、6600万年前の恐竜絶滅を引き起こしたのかもしれない。世界的トップサイエンティストが科学の最先端をわかりやすく解説し、宇宙と地球、生命の進化が深く結び付いているさまを鮮やかに描く。刺激と興奮に満ちあふれた、大注目の一冊!



古文書はいかに歴史を描くのか フィールドワークがつなぐ過去と未来

白水智 税込 ¥1,382 (紙の書籍 ISBN:9784140912362 2015/02刊)
NHK出版

甲州早川や信州秋山でのフィールドワークを通して、歴史研究の舞台裏としての史料調査と、その収集・整理について具体的に論じる。蔵や古い筆筒に眠る古文書から、いかにして隠された歴史を紐解くのか。その方途を長年の現場経験から明かす。



英語と日本軍 知られざる外国語教育史

江利川春雄 税込 ¥1,198 (紙の書籍 ISBN:9784140912386 2016/03刊)
NHK出版

陸海軍の学校では敗戦後まで英語教育が行なわれていた。目的はなんだったのか。どんな教科書や参考書が使われていたのか。幕末に始まった外国語教育は近代陸海軍創設からアジア・太平洋戦争に至るまで、皮肉にも日本の帝国主義の歩みを下支えてきた。英語教育史研究の第一人者が、当時の生徒が使用した教科書や残された手記の分析、生存者への取材から、知られざる教育の実態に迫るとともに、それが戦後に遺したものを明らかにする。



図解入門 よくわかる 最新 実験計画法の基本と仕組み

森田浩 税込 ¥1,749 (紙の書籍 ISBN:9784798027852 2010/11刊)
秀和システム

実験の効率化とデータ解析の全手法を、図解でわかりやすく解説した実験計画法の入門書です。膨大なデータのなかから意味のある情報を導き、解析するための手法が実験計画法です。本書では、実験計画法の基礎になる統計的手法から、実験計画法の解析手法や計算方法をやさしく解説。特別なプログラミングの知識を必要とせず、Excelを電卓代わりに使って手軽に解析する方法も紹介しています。



明治国家の終焉 — 一九〇〇年体制の崩壊 (ちくま学芸文庫)

坂野潤治 税込 ¥918 (紙の書籍 ISBN:9784480092960 2010/06刊)
筑摩書房

「1900年体制」とは、官僚閥の桂太郎と議会第一党・政友会の原敬によって構築された協調体制である。それは日露戦争後の金融界・産業界・都市部住民の主張を制限し、陸海軍と農村地主の利益を最優先しようとするものだった。ところが、軍部は陸軍と海軍に、官僚は大蔵と内務・鉄道院に、与党は積極財政派と行財政整理派に分裂し、野党・立憲国民党を巻き込んで政界は四分五裂に陥る。「民衆運動」もそれに共振し、統治システムの再編は迷走を続けた。「1955年体制」の崩壊を通奏低音としながら、予算問題の政治対立に焦点を当て、近代日本の臨界点となった「大正政変」の軌跡をたどる。

研究者・図書館・法人のお客様のためのオンラインストア

紀伊國屋書店
BookWeb Pro
https://pro.kinokuniya.co.jp



紀伊國屋書店電子書籍アプリ
Kinoppy



お問合せ先: **BookWeb Pro課**
Mail: bwpro@kinokuniya.co.jp
Tel: 03-6910-0527 Fax: 03-6420-1370